

## 平成19年度第4回公益事業振興補助事業審査・評価委員会議事要旨

1. 日 時 平成20年2月12日(火) 午後3時00分～
2. 場 所 (財)日本自転車振興会 7A会議室
3. 出席者 〈委員〉 小松隆二、栃本一三郎、藤井龍子、宮嶋泰子、  
山岸秀雄

(敬称略)

〈本会〉 猪野理事、中村課長、篠原課長、三浦課長

4. 議 題 (1) 平成20年度公益事業振興補助事業の採否について  
(2) 第2次事後評価の試行について  
(3) その他

### 5. 議事要旨

(質疑応答の内容は以下のとおり (○は委員の発言 ●は本会側の発言)  
(議題に対する質疑)

#### (1) 平成20年度公益事業振興補助事業の採否について

○(いくつかの事業に関し)補助要望に際し、要望している事業の計画の具体性や補助メニューとの関連性について疑問のあるものがある。補助事業を行うことの効果などを要望時にきちんと示すべきである。

●補助要望時に当該事業やその効果に関する資料などの提出を受け、説明は受けているが更に検討したい。

○NPO法人については、会計や決算書類に不備があるような法人は補助を打ち切ってもよいのではないか。

●事業が始まってから法人の担当者がきちんと事務処理をしていないケースもある。そのような場合、次年度の要望を採択しないこともある。

○採否を留保していた2件を不採択としたうえで、「平成20年度公益事業振興補助事業の採否について(案)」を了承。(なお、委員会にける意見を踏まえ、その後事務局において、一部事業について、内定条件の付与、査定減等を行った。)

(2) 第2次事後評価の試行について

- 利用率の他に、例えば施設利用者が明るくなった、元気になった等のような効果をデータ上で反映できるような工夫を考えられると良い。
- （利用率だけでなく）法人にこのような評価書を書かせることで、自身の事業に対する意識付け、気付きという点で意義が見出せればよいと思う。その意味で、記入フォーマットについて言えば、改善効果について記入させるスペースを拡げるべきだろう。利用率等の数字で測れるものではない面があるので、評価理由や特記事項を記入するスペースも欲しい。
  
- 保育所などの平均利用率は都市部と地方とでは差があるようなので県別のデータも利用したらどうか。
- 県別のデータがあれば使うなどして、できる限り地域実態を反映した再評価となるよう努力したい。

以上